

ザ・特定行為実践

第4号
2023年9月 作成
特定行為研修室 発行
森永:PHS3126

大石 泰規：所属部署 救急外来

修了した特定行為

研修：2022年10月修了

呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は、経鼻用気管チューブの位置調整
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱
動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症に対する輸液による補正
循環動態に係る薬剤投与関連	・持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 ・持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 ・持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ・持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 ・持続点滴中の利尿剤の投与量の調整



救急外来が、『救急センター』そして、『救命救急センター』となり、より高度になっていく初療を経験していく中で看護師として新たなチャレンジをしたいと思い、特定看護師を目指しました。研修を経て、患者さんを看る能力や治療の展望を予測する力など確実にスキルアップができたと思います。



救急外来では主に、動脈血採血や橈骨動脈ラインの確保、降圧薬や昇圧薬の調整などの機会が多くあります。技術に関しては練習あるのみで、医師から依頼があった時に確実に成功できるよう自己研鑽しています。日々、患者さんの流れも違うため、機会を待つだけでなく、自分から積極的に実践へつなげていけるように意識しながら行っています。

写真はエコーガイド下で橈骨動脈ラインを確保する練習です。初めは見方が分からないこともあり、エコーを使用することに抵抗がありましたが、医師の指導を頂き、使用することに徐々に慣れてきました。

基本的に、**所属部署の業務フィールド内・通常勤務時間**に特定行為研修で学んだことを活用し、特定行為実践に取り組んでいます。今後ともご支援宜しくお願い致します。

特定行為や研修修了看護師について、何かご質問等がありましたら、特定行為研修室担当 森永までご連絡ください。